



芸術監督 佐渡 裕
Yutaka Sado
Conductor & Artistic Director

© 眞島隆

世界中から選抜された
若手音楽家によるオーケストラ

兵庫芸術文化センター管弦楽団

定期演奏会

SEASON
LINEUP
全9回

2026 > 2027

No.
171

2026

9/11金.12土.13日

3:00 PM 開演



指揮・芸術監督
佐渡 裕
Yutaka Sado,
Conductor & Artistic Director



ヴァイオラ
ローレンス・パワー
Lawrence Power,
Viola

新シーズン開幕!**佐渡裕芸術監督指揮で挑む日本初演とショスタコーヴィチ**

前半は世界屈指のヴィオリスト、ローレンス・パワーが登場。フィンランドの鬼才・リンドベルイが彼に捧げた協奏曲が、待望の日本初演を迎えます。後半は生誕120年、ロシアの大作作曲家ショスタコーヴィチ。スターリンの死後まもなく発表され、初演時にはその表現が大きな議論を巻き起こした交響曲第10番に挑みます。

リンドベルイ: ヴィオラ協奏曲 日本初演

Magnus Lindberg: Viola Concerto *Japan Premiere

ショスタコーヴィチ: 交響曲 第10番 ホ短調 op.93

Dmitry Shostakovich: Symphony No.10 in E minor, op.93

ローレンス・パワー(ヴァイオラ)

英国出身。ソロ、室内楽の両面で極めて高い評価を得ている、世界屈指のヴィオリストの一人。現代音楽に熱心に取り組んでおり、自身の委嘱プロジェクトを通じて現代を代表する作曲家たちとヴァイオラのレパートリーを拡充するほか、室内楽祭の芸術監督や映像制作など多彩な活動を展開。

No.
172

2026

10/16金.17土.18日

3:00 PM 開演



指揮
ユベール・スダーン
Hubert Soudant, Conductor



チェロ
ヨハネス・モーザー
Johannes Moser, Cello

時代を越えて響く、大作曲家たちの精神に迫る

前半は没後170年を迎えるシューマン2作品。幻想的な「マンフレッド」序曲に続き、詩情豊かな「チェロ協奏曲」を、世界的チェリスト、ヨハネス・モーザーが奏でます。後半はベートーヴェンが新たな交響曲像を切り拓いた、交響曲第3番「英雄」。PACには欠かせない名匠スターダンのタクトで、名作に宿る精神に迫ります。

シューマン: 劇音楽「マンフレッド」序曲 op.115

Robert Schumann: Overture to "Manfred", op.115

シューマン: チェロ協奏曲 イ短調 op.129

Robert Schumann: Cello Concerto in A minor, op.129

ベートーヴェン: 交響曲 第3番 変ホ長調 op.55「英雄」

Ludwig van Beethoven: Symphony No.3 in E flat major, op.55, "Eroica"

ユベール・スダーン(指揮) 現在、東京交響楽団桂冠指揮者他を務めるユベール・スダーンは、ブザンソン国際指揮者コンクール最高位、カラヤン国際指揮者コンクール第2位などに輝き、フランス国立放送フィル、ザルツブルク・モーツァルテウム管の首席指揮者、東響音楽監督などを歴任。2004年、ザルツブルク市名誉市民およびオーストリア・ザルツブルク州ゴールドン勲章を授与されている。

ヨハネス・モーザー(チェロ) 「最も卓越した存在のひとり」と称賛されたドイツ系カナダ人チェリスト、ヨハネス・モーザーは、数多くの世界的オーケストラと共演するなど、常にチェロ界を牽引してきている。現代音楽の良き理解者であり、新作チェロ作品の委嘱における第一人者として国際的に重要な役割を担っている。ゲリンガス教授に師事し、2002年チャイコフスキー国際コンクールで最高位を獲得。使用楽器は、1694年製アンドレア・ゲルネリのチェロ(個人コレクション)。

No.
173

2026

11/6金.7土.8日

3:00 PM 開演



指揮
ミハエル・ザンデルリンク
Michael Sanderling, Conductor



ピアノ
ソフィア・リュウ
Sophia Liu, Piano

PAC定期初登場、ドイツの名指揮者×10代の才能との共演

名門ルツェルン響を率いるザンデルリンクが登場。前半はウェーバーのドイツ語オペラ「オイリアンテ」序曲に、世界が注目する10代の新星ソフィア・リュウによるラフマニノフ。瑞々しい感性から生み出される極上の旋律をご堪能ください。後半はベートーヴェンの交響曲の中でも高い人気を誇る7番。ザンデルリンクが描く、躍動のクライマックスは必聴です。

ウェーバー: 歌劇「オイリアンテ」序曲 op.81

Carl Maria von Weber: Overture to "Euryanthe", op.81

ラフマニノフ: ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18

Sergey Rachmaninoff: Piano Concerto No.2 in C minor, op.18

ベートーヴェン: 交響曲 第7番 イ長調 op.92

Ludwig van Beethoven: Symphony No.7 in A major, op.92

ミハエル・ザンデルリンク(指揮) ドレスデン・フィルなどを経て、2021年からはルツェルン響の首席指揮者。ベルリン・フィル、コンセルトヘボウ管、パリ管、N響などにも客演している。ドレスデン・フィルとはベートーヴェン、ショスタコーヴィチの、ルツェルン響とはブラームスの交響曲全集を録音。

ソフィア・リュウ(ピアノ) 2008年上海生まれ。モントリオールでダン・タイ・ソンに師事。様々なコンクールで優勝・入賞し、各地で大成功をおさめている。クリーヴランド管、トゥールーズ・キャピトル国立管、N響などと共演。ラ・ロック・ダンテロン国際音楽祭などにも定期的に招かれている。

No.
174

2026

3:00 PM 開演
12/11_金.12_土.13_日



指揮
カーチュン・ウオン
Kahchun Wong, Conductor

多種多様な楽器にも注目。演奏時間80分の大曲「夜の歌」

第2・第4楽章を「夜曲」と題することから“夜の歌”の俗称を持つマーラーの交響曲第7番。マンドリンやギター、テノールホルンなど多彩な楽器と奏法が織りなす、聴くほどに発見が広がる作品です。個々の奏者の高度な技量と緻密なチームワークを、カーチュン・ウオンの確かなタクトで引き出します。

マーラー：交響曲 第7番 ホ短調

Gustav Mahler: Symphony No.7 in E minor

カーチュン・ウオン(指揮)

マーラー国際指揮者コンクールで優勝。ニューヨーク・フィル、クリーヴランド管弦楽団、ドレスデン・フィルを含む国内外の主要楽団と共演。ハレ管弦楽団首席指揮者兼芸術顧問、日本フィルハーモニー交響楽団首席指揮者を務める。

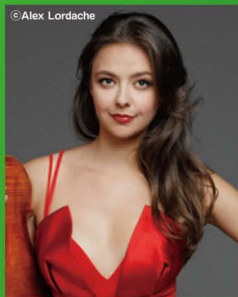
No.
175

2027

3:00 PM 開演
1/15_金.16_土.17_日



指揮・芸術監督
佐渡 裕
Yutaka Sado,
Conductor & Artistic Director



ヴァイオリン
アレクサンドラ・コヌノヴァ
Alexandra Conunova,
Violin

100人の個性が響き合う。佐渡裕が描く、壮大な「英雄の生涯」

前半はモルドバ出身の注目の奏者、コヌノヴァが登場。情熱的なサン=サーンスにご期待ください。後半の「英雄の生涯」は、大編成の中で一人ひとりが主役級の活躍を見せる、PACメンバーの技量が問われる作品。佐渡裕芸術監督の指揮のもと、100名を超える奏者が一体となって迫りくる音の波は、まさに圧巻です。

サン=サーンス：ヴァイオリン協奏曲 第3番 口短調 op.61

Camille Saint-Saëns: Violin Concerto No.3 in B minor, op.61

R.シュトラウス：交響詩「英雄の生涯」 op.40, TrV190

Richard Strauss: Ein Heldenleben (A Hero's Life), op.40, TrV190

アレクサンドラ・コヌノヴァ(ヴァイオリン)

2012年ハノーファー国際コンクール優勝。15年チャイコフスキー国際コンクール第3位。これまでにロンドン響、パリ管、マーラー室内管、バイエルン放送響、スイス・ロマンド管等と多数共演。その音色と完璧なテクニックで国際的に高く称賛されている。

No.
176

2027

3:00 PM 開演
3/19_金.20_土.21_日祝



指揮
ポール・ダニエル
Paul Daniel, Conductor



チェロ
鳥羽咲音
Sakura Toba, Cello

英国の名匠ポール・ダニエルが贈る、英国プログラム

英国を代表する作曲家、エルガーとホルストの魅力に迫るプログラム。前半は第1次世界大戦直後の1919年に発表された、エルガーのチェロ協奏曲。情感あふれるエルガーの最高傑作に、新進気鋭のチェリスト・鳥羽咲音と共に挑みます。続くホルスト「惑星」は、大編成のオーケストラが描く壮大な宇宙の物語。圧倒的な響きをぜひ会場で体感してみてください。

エルガー：チェロ協奏曲 ホ短調 op.85

Edward Elgar: Cello Concerto in E minor, op.85

ホルスト：組曲「惑星」 op.32

Gustav Holst: The Planets, op.32

ポール・ダニエル(指揮) ガリシア王立フィルハーモニー管、ポルドー・アキテーヌ管弦楽団、西オーストラリア交響楽団、イングリッシュ・ナショナル・オペラの音楽監督を歴任。フィルハーモニア管、パリ管、バイエルン放送響、ゲヴァントハウス管、英ロイヤル・オペラ、モネ、バイエルン、ドレスデン、メトロポリタンなどの歌劇場に客演。

鳥羽咲音(チェロ) ウィーン生まれ。毛利伯郎、J-P.マインツらに師事。東京・春・音楽祭などでのソロ公演ほか、アルミンク、大友直人、山田和樹らの指揮でN響、読響、京響、広響、ウィーン室内管などと共演。使用楽器はアンネ=ゾフィー・ムター財団より貸与された1840年製のジャン=バティスト・ヴィヨーム。

No.
177

2027
5/14金.15土.16日
3:00 PM 開演



指揮
角田鋼亮
Kosuke Tsunoda,
Conductor



太鼓
林英哲、英哲風雲の会
Eitetsu Hayashi
& EITETSU FU-UN no KAI, Taiko

角田鋼亮(指揮) 東京藝術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。N響、読響、都響、札響、京響、九響など国内外の主要オーケストラと共演を重ねる、いま日本で最も期待される指揮者の一人。現在、セントラル愛知交響楽団音楽監督を務めている。

林英哲(太鼓) 初の太鼓ソリストとして独奏法を切り拓き、前例のない“太鼓音楽”の表現を築く。カーネギーホール出演やベルリン・フィル共演に加え、東京オリンピック関連の公式映像への参加や、NHK大河ドラマ『麒麟がくる』でのソリスト出演など幅広く活動。2026年に演奏活動55周年を迎える。

魂を揺さぶる和洋の響きと、幻想的な「人魚姫」

今注目の指揮者・角田鋼亮と、演奏活動55年を迎えた太鼓奏者・林英哲が登場。7人の太鼓奏者とオーケストラによる「モノプリズム」で、和と洋の響きをご体感ください。後半はアンデルセンの童話を基にしたツェムリンスキー「人魚姫」。ロマンティックで美しい隠れた名作を、どうぞお聴き逃しなく。

ラヴェル：管弦楽のための舞踏詩「ラ・ヴァルス」

Maurice Ravel: La Valse, Poème chorégraphique pour orchestre

石井眞木：日本太鼓とオーケストラのための「モノプリズム」 op.29

Maki Ishii: Mono-prism, op.29

ツェムリンスキー：交響詩「人魚姫」

Alexander Zemlinsky: Die Seejungfrau (The Mermaid)

No.
178

2027
6/11金.12土.13日
3:00 PM 開演



指揮
シルヴァン・カンブレラン
Sylvain Cambreling, Conductor



ピアノ
阪田知樹
Tomoki Sakata, Piano

シルヴァン・カンブレラン(指揮) フランス・アミアン生まれ。ハンブルク交響楽団の首席指揮者、読売日本交響楽団の桂冠指揮者に就任し、日本でも度々客演を重ねている。これまでにベルギー王立モネ歌劇場の音楽監督、フランクフルト歌劇場の音楽総監督、シュトゥットガルト歌劇場の音楽総監督などを歴任し、フランス音楽のスペシャリストとして国際的に活躍を続けている。

20世紀、音の変革。カンブレランが描く、鮮烈なリズムと色彩

名匠カンブレランが贈る、近代音楽の多彩な輝き。前半は、民俗音楽の魂が脈打つバルトーク「舞踏組曲」に続き、実力派・阪田知樹が左手のみで大編成と対峙するラヴェルの難曲に挑みます。後半はストラヴィンスキー「火の鳥」組曲。1945年版ならではの凝縮された色彩と精緻なタクトが、物語を鮮やかに描き出します。

バルトーク：舞踏組曲 Sz.77

Béla Bartók: Dance Suite, Sz.77

ラヴェル：左手のためのピアノ協奏曲 二長調

Maurice Ravel: Piano Concerto for the Left Hand in D major

ストラヴィンスキー：バレエ音楽「火の鳥」組曲(1945年版)

Igor Stravinsky: The Firebird Suite (1945 version)

阪田知樹(ピアノ) 2016年フランクフルト国際ピアノコンクール第1位、6つの特典賞。2021年エリザベート王妃国際音楽コンクール第4位入賞。第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて弱冠19歳で最年少入賞。2017年横浜文化賞文化・芸術奨励賞、2023年第32回出光音楽賞、第72回神奈川文化賞未来賞を受賞。

No.
179

2027
8/6金.7土.8日
3:00 PM 開演



指揮・芸術監督
佐渡 裕
Yutaka Sado,
Conductor & Artistic Director



クラリネット
リチャード・ストルツマン
Richard Stoltzman,
Clarinet

リチャード・ストルツマン(クラリネット)

1942年米国生まれ。クラシック、ジャズ、ポップス界で多彩な活躍を重ね、世界中で圧倒的な支持を受け続けるクラリネットの名手。ディスコグラフィは60を優に超え、2度のグラミー賞を受賞。《ファンタズマ／カントス》は親友であった武満徹によりストルツマンのために作曲された。

伝説的クラリネット奏者、ストルツマン登場

佐渡裕芸術監督と、グラミー賞を2度受賞したクラリネットの名手・ストルツマンの豪華共演が実現。親友・武満徹が彼のために書いた《ファンタズマ／カントス》で、武満音楽の神髄に迫ります。後半はシューマンの交響曲第2番。PACのアンサンブル力が結集する、シーズンの締めくくりにふさわしい演目です。

武満徹：独奏クラリネットとオーケストラのための《ファンタズマ／カントス》

Toru Takemitsu: Fantasma / Cantos for Clarinet and Orchestra

シューマン：交響曲 第2番 八長調 op.61

Robert Schumann: Symphony No.2 in C major, op.61

2026年9月、PACオーケストラは21年目の定期演奏会シーズンを迎えます。

世界でも類を見ない「アカデミー機能を持つプロ・オーケストラ」として歩み始めたPACは、多くの方々の温かいご支援に支えられ、今日まで活動を続けています。卒団メンバーたちが国内外で活躍の場を広げている姿は、私たちにとって何よりの喜びです。

今シーズンも、PACは立ち止まることなく挑戦を続けていきます。私が指揮をする3公演に加え、世界の第一線で活躍する指揮者やソリストが登場し、年間を通して多彩な音楽体験をお届けします。

定期会員として継続してお聴きいただくことで、PACメンバーがさまざまな音楽と向き合い、成長していく過程を共有していただけるはず。ぜひ劇場で、PACの「今」と「これから」を見届けていただければ幸いです。

芸術監督 佐渡 裕



©飯島隆

定期演奏会の他にも多彩な公演が勢ぞろい!

特別演奏会 豊嶋泰嗣デビュー40周年

KOBELCO大ホール

2026.10/3(土) ヴァイオリン:豊嶋泰嗣

第40回 名曲コンサート

KOBELCO大ホール

2026.12/19(土)

指揮・ヴァイオリン:ライナー・ホーネック/ピアノ:菊池洋子

下野竜也&三浦文彰 シリーズ

KOBELCO大ホール

I 北欧 2027.2/20(土)

II スペイン・フランス 2027.3/27(土)

III ロシア・東欧 2027.4/10(土)

IV アメリカ・日本 2027.5/22(土)

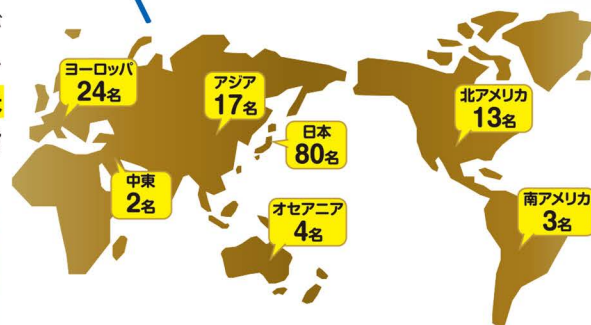
指揮:下野竜也/ヴァイオリン:三浦文彰

PACは世界中から選抜された若いメンバーによる、世界一フレッシュなオーケストラです!

兵庫芸術文化センター管弦楽団(PAC)は世界でも稀なアカデミー機能を持つオーケストラ。国内外のオーディションで選ばれた入団時35歳以下の音楽家たちが最長3年の在籍期間中に、定期演奏会やオペラ等の公演、ゲスト奏者によるコーチングを通じて、オーケストラ奏者としての腕を磨きます。現在はアジアや欧米など8ヶ国から集まった42名のメンバーが在籍。西宮から次のステップを目指して日々奮闘する若いメンバーたちを、ぜひ応援してください!



世界29の国と地域で活躍する143名の卒団メンバー



2026年2月時点

第一線で活躍する卒団メンバーの声をご紹介します!



ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団 チェロ奏者

モニカ・セカラ 2019.9 - 2022.12 在籍

国際色豊かでフレンドリーなPACでの経験は、私に自信と挑戦する勇気を与えてくれました。オーケストラの仕事を得るための過酷なオーディションに挑む上で、佐渡裕芸術監督やPACの仲間たちの温かい励ましが自信の源となり、折れそうな心を支えてくれました。唯一無二のオーケストラであるPACを、これからもぜひ応援してください。



日本フィルハーモニー交響楽団 ティンパニ副首席

池田 健太 2018.9 - 2022.8 在籍

オーケストラのティンパニ奏者というのは、ある程度経験が必要と言われます。しかし、学生や若手にとって、ティンパニの経験を積むチャンスは非常に限られています。入団当初、ほとんど何も出来なかった私を辛抱強く使ってくださった佐渡芸術監督をはじめ、一緒に演奏してくれた仲間やゲストプレイヤーの方々には感謝してもしきれません。

最新情報はこちら!
PAC公式ウェブサイト
<https://hpac-orc.jp>



PACオーケストラの演奏をご自宅でも!
PAC公式YouTube 好評配信中!



・Meet-HPAC リサイタルホールから
・わくわくOnlineオーケストラ教室 妖精バックのオーケストラってなあーに?



Facebook
@HPACOrchestra



X
@hpac_orchestra



Instagram
@hpac_orchestra

PACを聴くなら

月に一度、マイ・シートで音楽に出会う楽しみを 定期会員券(9回通し券)が断然おトク!

「金曜通し券」「土曜通し券」「日曜通し券」をお選びいただき、同じお席で年間9回の定期演奏会をご鑑賞いただけます。

定期会員だけの特典はこちら!

特典 1

1回券よりも
お得な料金設定

特典 2

室内楽演奏会を
特別料金で

特典 3

オーケストラ紹介
パンフレットを進呈

特典 4

公開リハーサルへご招待
※定期会員券を複数セットご購入いただいた場合、公開リハーサルのご案内はご購入者ご本人にのみ郵送いたします。予めご了承ください。

特典 5

PACオリジナル・
グッズをプレゼント



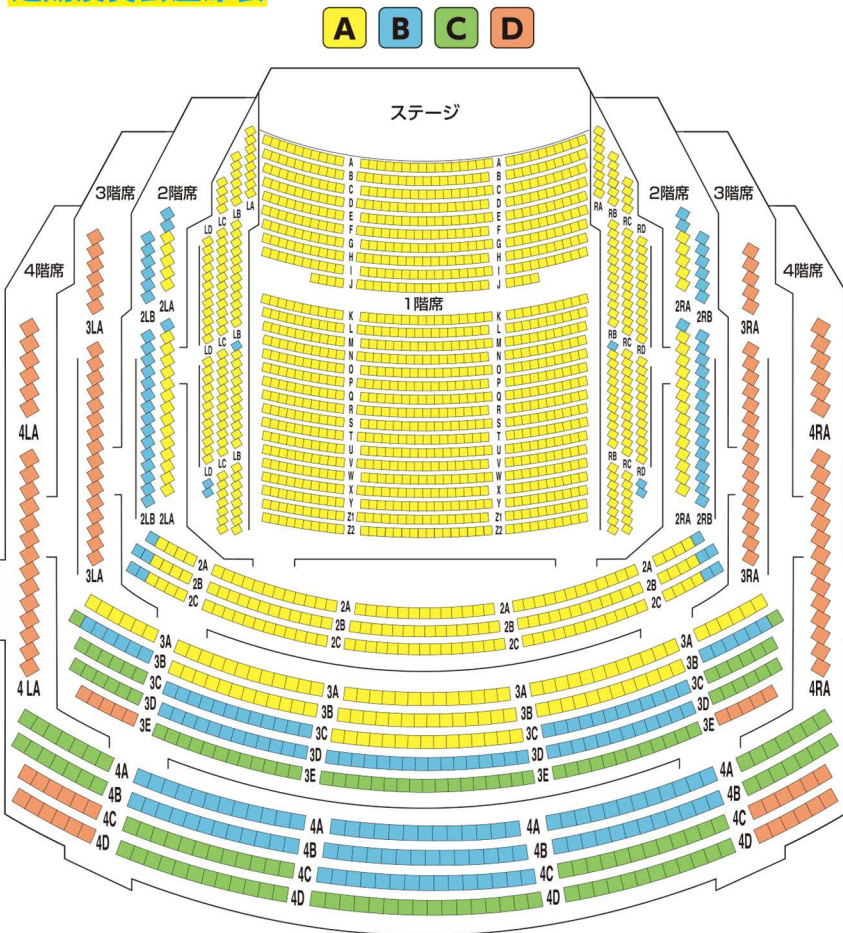
※イメージです

発売日程

	芸術文化センター会員先行予約		一般発売		窓口
電話・インターネット	B席 C席	4/17 (金) ~ 10:00AM	A席	4/18 (土) ~ 10:00AM	4/21 (火) ~ 10:00AM 残席がある場合のみ

※一度のご予約(お電話含む)でお取りいただける席数は2セットまでとなります。 ※定期会員券の発売は5月末をもって終了いたします。期間内でも各日予定枚数に達し次第、販売を終了させていただきます。 ※定期会員券をお求めいただくと先行予約会員にもご入会いただけます。

定期演奏会座席表



定期演奏会料金表(全て税込)

	定期会員券(9回)	1回券
A	¥32,400 (1回分単価¥3,600) ¥12,600おトク!	¥5,000
B	¥27,000 (1回分単価¥3,000) ¥9,000おトク!	¥4,000
C	¥19,800 (1回分単価¥2,200) ¥2,700おトク!	¥2,500
D		¥1,000

※D席は1回券のみの取り扱いとなります。 ※1回券は6月より順次発売を開始します。 ※1セット10枚で発券されます。1枚目は9回分の合計金額を記載したもので、入場券ではございません。ご来場の際は2枚目以降(各回の入場券)をお持ちください。

コンビニ決済手数料	330円/件 ※1件の予約につき
コンビニ発券手数料	165円/枚 定期会員券(9回通し券)の場合、1セットにつき9枚分の発券手数料(計1,485円)がかかります。
発送手数料	990円/件 ※1件の予約につき(発券手数料を含む)

※郵送取引の場合、支払方法はご予約時のクレジットカード決済のみとなります。 ※当センターでの窓口支払い及び発券については無料です。 ※手数料に関する詳細は、芸術文化センターウェブサイトにてご確認ください。

ご予約・お問い合わせ

芸術文化センターチケットオフィス
0798-68-0255 10:00AM~5:00PM
月曜休み※祝日の場合翌日
<https://www.gcenter-hyogo.jp>



主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

※未就学児童の入場はご遠慮ください。 ※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更となる場合があります。予めご了承ください。



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら



便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

- ◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)
 - ◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
- ※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

